

消毒NAVI 気管内吸引チューブ

現場でお困りの消毒方法について、山陽小野田市立 山口東京理科大学 薬学部 教授 尾家 重治先生に解説していただきました。

なお、器具・物品や消毒剤等の取り扱いにつきましては、各製品の取扱説明書等をご確認ください。

気管内吸引チューブの消毒方法

気管内の吸引チューブは毎回使い捨て（ディスポ）とするのが望ましいです。やむを得ず、繰り返し使用する場合には次のような消毒を行います¹⁻³⁾。



1. 使用後に、吸引チューブの外表面をアルコール綿で清拭



2. 水道水で吸引洗浄します。

3. 8%エタノール添加の0.1%ベンザルコニウム塩化物を吸引後、次回使用時まで浸漬します。

4. 使用前に、消毒薬のすすぎのために滅菌水を吸引します。

なお、8%エタノール添加の0.1%ベンザルコニウム塩化物製品ではエタノールによる細菌増殖防止効果が期待できるので、その使用期限は使用開始後1～7日間などとして差し支えありません。

参考資料

- 1) 尾家重治, 他: 気管内チューブ浸漬用消毒薬の使用後の微生物汚染調査. 医学と薬学, 42: 989-991, 1999
- 2) Oie S, et al: Microbial contamination of antiseptics and disinfectants. Am J Infect Control, 24: 389-395, 1996【IC08408】
- 3) 尾家重治, 他: 気管内チューブの微生物汚染とその対策. 日環感, 8: 15-18, 1993【IC00995】